

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成30年												平成31年													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月 ~7日	4月 ~14日	4月 ~21日	4月 ~28日	5月 ~5日	5月 ~12日	5月 ~19日	5月 ~26日	6月 ~2日	6月 ~9日	6月 ~16日
カンピロバクター	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	109	109	56	46	78	17	21	18	9	8	26	21	32	17	0 (24)	0
病原性大腸菌	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	119	157	85	81	77	19	13	20	17	7	17	12	15	15	11	13
腸管出血性大腸菌	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	5	13	5	3	11	0	1	1	4	0	1	1	1	3	2 (3)	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	22	19	10	9	12	3	5	3	2	0	4	3	7	1	7	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	18	22	22	16	22	3	6	3	2	1	5	1	4	3	1	2
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
その他	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	3	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
ロタウイルス	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	1	2	3	2	0	4	4	1	0	2	1	1	0	1	2
アデノウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
ノロウイルス	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	6	23	23	23	11	2	3	2	4	0	1	1	0	2	0	2

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

*その他の3件は、アエロモナスでした。

広島県感染症発生動向週報

令和元年第24週(6月10日~6月16日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7			3		2	1	1
三類	0	発生なし	0							
四類	2	日本紅斑熱	1						1	
		レジオネラ症	1					1		
五類全数	18	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3				2		1	
		後天性免疫不全症候群	2					2		
		侵襲性肺炎球菌感染症	1			1				
		梅毒	3					3		
		百日咳	8		5		2	1		
		麻しん	1					1		

注) 西部 … 大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部 … 三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
西部東 … 竹原市、東広島市、大崎上島町
北部 … 三次市、庄原市

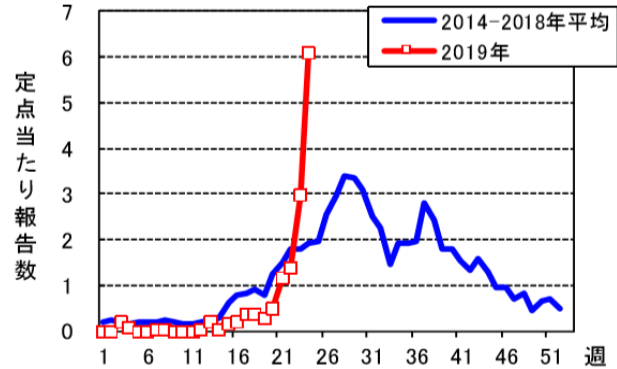
● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第24週 6/10～6/16)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

手足口病の流行状況



【参考】厚生労働省「手足口病に関するQ&A」
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaaku-kansenshou19/hfmd.html>

1. 手足口病

定点当たり6.09人の報告があり、急増しています。感染経路は、飛沫感染、接触感染、便中に排出されたウイルスによる経口感染が知られています。

今後さらに大きな流行となる可能性があり、注意が必要です。

感染予防対策として、日頃からしっかり手洗いをする、排泄物を適切に処理することが大切です。

2. 後天性免疫不全症候群

2件の報告があり、今年の累計は8件となりました。

3. 麻しん

1件の報告があり、今年の累計は4件となりました。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
フィン	インフルエンザ	-	-	0.03			小児科	流行性耳下腺炎	2	0.09	0.63		
小児科	咽頭結膜熱	18	0.78	0.90			眼科	RSウイルス感染症	8	0.35	0.13		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	66	2.87	3.23				急性出血性結膜炎	-	-	-		
	感染性胃腸炎	132	5.74	6.39			基幹	流行性角結膜炎	4	0.50	0.82		
	水痘	14	0.61	0.84				細菌性髄膜炎	-	-	-		
	手足口病	140	6.09	1.91				無菌性髄膜炎	-	-	0.03		
	伝染性紅斑	7	0.30	0.27				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.31		
	突発性発しん	13	0.57	0.49				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	ヘルパンギーナ	35	1.52	1.11				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.29		

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↖ ↙ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇄ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	74	女性(30歳代)、男性(60歳代)
4	レジオネラ症	1	8	男性(30歳代)
5	後天性免疫不全症候群	2	8	男性(10歳代)・感染者、男性(20歳代)・感染者
5	梅毒	3	44	男性(20歳代)、女性(20歳代)、女性(30歳代)
5	百日咳	1	28	男性(70歳代)
5	麻しん	1	4	男性(20歳代)

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の呼吸器疾患	気管支炎	2	女	2019/04/26	鼻汁	ライノウイルス
その他の消化器疾患	腹痛	5	男	2019/05/06	糞便	アデノウイルス1型
その他の消化器疾患	腹痛	2	女	2019/05/06	糞便	アデノウイルス2型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載